2026年11月27日

原料費調整制度に基づく2027年1月検針分のガス料金について

（群馬地区）

東京ガス株式会社

1. 一般料金契約

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月の ご使用量	料金表A 0～24m^3	料金表B 25～500m^3	料金表C 501m^3～
基本料金 (円/月)	909.00	1,446.10	7,762.30
調整単位料金 (円/m^3)	199.62	178.07	165.45
（参考） 補助金適用前 調整単位料金 (円/m^3)	203.62	182.07	169.45
(参考) 12月 調整単位料金	199.50	177.95	165.33

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m^3(45MJ/m^3)	2026年 12月	2027年 1月[*1]	増減
適用料金(円/月)	7,852	7,856	4

【参考】補助金適用前

2027年 1月 適用料金	補助金適用 前後の差
8,000	144

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

*1　経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、4円／m^{3}値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

		2026年7月～2026年9月 の平均 (12月検針分)	2026年8月～2026年10月 の平均 (1月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)		115,040	119,830	4,790
	LNG	116,780	121,780	5,000
	LPG	113,880	116,390	2,510
基準平均原料価格(b)		84,510		
差額(a-b)		30,500	35,300	4,800

・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a−b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	＝	121,780	×0.9326
＋LPG平均原料価格(貿易統計値)	＝	116,390	×0.0538

＝ 119,833.81

↓(10円未満四捨五入)

119,830 円/t

■原料価格変動額の算定

119,830 円/t － 84,510 円/t ＝ 35,320 円/t

↓(100円未満切捨て)

35,300 円/t

■単位料金調整額(m^3当たり調整額)の算定

単位料金調整額＝ 35,300 円 /100円×0.0858[*2]

＝ 30.28 円[*3]

*2 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■単位料金調整額(m^3あたり調整額)の算定（補助金適用後）

単位料金調整額 ＝ 30.28 円 - 4円 ＝ 26.28 円

（補助金適用後）

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

本体料金(税込) ＝ 基本料金(1,446.10円)

＋ 調整単位料金(151.79円 ＋ 26.28 円）×36m^3

基準単位料金（税込）↑ ↑単位料金調整額(税込)

＝ 7,856 円 ・本体料金は小数点以下切捨て

［参考］

原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m^3あたりの単価）を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格（84,510円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m^3あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。